

2003年8月2日

## ホワイエ展示の企画について

レスキューロボットコンテストおよび、現在の日本のレスキュー活動をより深く知っていただくため、コンテスト以外に、以下に示す展示を計画しております。

### 1) レスコンシーズ

昨年実施したレスコン Jr. は、来場した小中学生に、小型サイズのラジコン救助ロボットを操作してもらい、小さな人形を救出することで、レスキュー活動を体験して頂く、いわばレスキューロボットコンテストの簡易版でした。今年はこれに加えて、地域独特のレスコンを小型サイズで実現しました。地域によって頻繁に起きる災害の種類は異なるため、これをレスコンシーズと呼びます。レスキューロボットコンテストの期間中は、ホワイエに数種類の特設競技場（2m×1m 程度）が設置され、レスコンシーズを体験することができます。

### 2) ポスター展示

レスキューロボットコンテストが開催されることになった経緯や、本大会のルールの説明、救助対象となるダミヤンの仕組みなど、レスキューロボットコンテストに関する情報について、ポスターを用いて展示します。

### 3) レスキューロボット操縦体験

8月2日の午後にホール舞台にて、また8月3日のお昼休みにホワイエにて「レスキューロボット操縦体験コーナー」を開設します。これは、レスコンの競技で実際に使用するロボットと同等のものを準備し、設置したエリア内（3m×3m 程度）にて、無線操縦で救助活動の体験を行っていただくものです。希望者には、1人3分程度の体験操縦が可能です。ただし人数に限りはあります。申込制。

### 5) 大都市大震災軽減化プロジェクト成果展示

2002年度から日本で初めてのレスキューロボットの研究開発の国家プロジェクトが始まりました。文部科学省の下で5ヵ年計画で行われる「大都市大震災軽減化プロジェクト（大大特プロジェクト）」の中の「レスキューロボット等の高度な次世代防災インフラ構築」です。このプロジェクトの中のいくつかの研究開発の成果を実物やパネルで展示します。

### 6) レスキューシンポジウム

8月3日 13:00 より、日本レスキュー協会による講演とレスキュー犬のデモンストレーションがステージにて行われます。デモンストレーションは、「木箱の中にお客さんが入ってそれをレスキュー犬が探索する」というものを、ステージ上で行う予定です。ただし、災害が発生した場合には、出動がかかるため、講演およびデモンストレーションは中止となります。

その他にも体験・展示がいくつかあります。是非ご覧下さい。

以上